【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【公開番号】特開2022-100789(P2022-100789A)
【公開日】令和4年7月6日(2022.7.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-122
【出願番号】特願2020-214984(P2020-214984)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　5/00(2021.01)
Ｇ０３Ｂ 15/00(2021.01)
Ｇ０３Ｂ 17/02(2021.01)
Ｈ０４Ｎ 23/50(2023.01)
Ｈ０４Ｎ 23/57(2023.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　5/00　　Ｊ
Ｇ０３Ｂ 15/00　　Ｖ
Ｇ０３Ｂ 17/02
Ｈ０４Ｎ　5/225１００
Ｈ０４Ｎ　5/225７００

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月7日(2023.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入射光を反射させる光学素子を保持可能な可動部と、
前記可動部を駆動する駆動部と、
前記可動部に給電可能な基板部と、
互いに離間して配置された前記基板部側の端子と前記可動部側の端子とを接続するように延在して前記基板部と前記可動部との間の給電経路を構成し、前記可動部の移動に応じて伸縮可能な変位部を少なくとも部分的に有する給電経路部と、
を備える光学素子駆動装置。
【請求項２】
前記可動部は、前記可動部側の端子が、前記基板部に対して接近または離反するように移動する、
請求項１に記載の光学素子駆動装置。
【請求項３】
前記給電経路部は、前記可動部の移動方向において複数並んで設けられ、
前記移動方向で隣り合う２つの前記給電経路部の各変位部は、前記光学素子からの反射光の出射方向の位置が互いに異なるように配置されている、
請求項２に記載の光学素子駆動装置。
【請求項４】
前記給電経路部は、前記変位部とは異なる位置にワイヤー部を有し、
複数の給電経路部のワイヤー部の一部のそれぞれを保持して、前記複数の給電経路部の位置関係を一定範囲内に維持する維持部を備える、

請求項３に記載の光学素子駆動装置。
【請求項５】
前記給電経路部は、前記可動部側の端子の移動方向および前記光学素子からの反射光の出射方向のそれぞれに直交する第３方向における前記可動部の両端側にそれぞれ設けられている、
請求項２～４の何れか１項に記載の光学素子駆動装置。
【請求項６】
前記給電経路部は、前記光学素子からの反射光の出射方向における前記可動部の両端部にわたって延びている、
請求項１～５の何れか１項に記載の光学素子駆動装置。
【請求項７】
前記駆動部は、前記光学素子からの反射光の出射方向に沿う回転軸を中心に前記可動部を回転駆動する、
請求項１～６の何れか１項に記載の光学素子駆動装置。
【請求項８】
前記変位部は、コイルバネである、
請求項１～７の何れか１項に記載の光学素子駆動装置。
【請求項９】
前記可動部は、前記光学素子を保持する光学素子保持部を収容し、
前記駆動部は、
第１回転軸を中心に前記可動部を回転駆動する第１駆動部と、
第１回転軸に直交する第２回転軸を中心に前記光学素子保持部を回転駆動する第２駆動部と、
を有する、
請求項１～８の何れか１項に記載の光学素子駆動装置。
【請求項１０】
請求項１～９の何れか１項に記載の光学素子駆動装置と、
前記可動部に保持される前記光学素子を含む光学素子部と、
前記光学素子部により結像された被写体像を撮像する撮像部と、
を備えるカメラモジュール。
【請求項１１】
情報機器または輸送機器であるカメラ搭載装置であって、
請求項１０に記載のカメラモジュールと、
前記カメラモジュールで得られた画像情報を処理する撮像制御部と、
を備えるカメラ搭載装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明に係る光学素子駆動装置は、
入射光を反射させる光学素子を保持可能な可動部と、
前記可動部を駆動する駆動部と、
前記可動部に給電可能な基板部と、
互いに離間して配置された前記基板部側の端子と前記可動部側の端子とを接続するように延在して前記基板部と前記可動部との間の給電経路を構成し、前記可動部の移動に応じて伸縮可能な変位部を少なくとも部分的に有する給電経路部と、
を備える。